

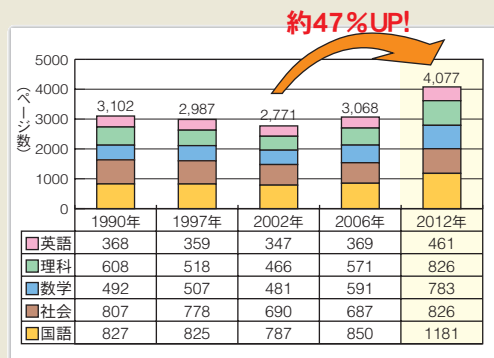
2012年春、教科書革命 中学教科書が大きく変わります



中学教科書「激増」！ 5教科平均で約47%増！

学習指導要領の大幅改訂に伴い、2011年より新しくなった小学校の教科書に加え、2012年4月より中学校の教科書が全面改訂となります。「ゆとり教育」時代と比べると、学習内容も授業時間も大幅に増加。

新しい教科書は、2002年度使用の「ゆとり教育」時代と比べると、**5教科平均で約47%のページ増!**中でも理科は**77%も増加**しています。



中学教科書 主要5科総ページ数の変化(各社平均)

ページ数だけでなく難易度もアップ! 「最低教科書内容だけは…」が通用しない?!

新学習指導要領では、単なる知識の詰め込みではなく、基礎力の定着から、「記述力」「思考力」「活用力」を問う問題まで、難易度アップとともに内容も非常に多岐にわたるものが求められます。

新しい教科書では、「必ず教科書に載っていることを教えなさい」というこれまでの上限規定から、「必ずしも教科書に載っていることすべてを教える必要はありません」という下限規定へと作成のルールが変化したことも特徴の一つ。ということは、**指導者によって教える内容・教えない内容が変わる**ということも十分にあり得る話です。

教科書の量的アップ&質的難化により、「最低教科書に載っているレベルくらいは完ぺきに…」ということが今後ますます難しくなりそうです。

学力格差がさらに加速。学習塾の指導はどうする?

指導内容の大幅増加に伴い、学校では一部の教科書内容を飛ばして教える等、実際に生徒が**学校で学習**しきれない部分が出てくるのが考えられます。さらに**生徒の学力レベルは多様化**し、「できる子」「できない子」の差がますます広がることが予想されます。

Q 1. **学習塾での指導内容**は?どの**教材**を使えばいいの?

◎年間教材使用スケジュールをご覧ください。(P7へ)【中学生 通年教材】はP33へ



Q 2. 学習塾での指導時間だけでは足りない! 必要なのは**家庭学習の指示**!

◎家庭学習に最適の教材を多数ご用意しております!【中学生 補助教材】P57へ



Q 3. 適切な指導には適切な**「学力判定」**が必要。

◎最適なテストを多数ご用意しております!【中学生 テスト】P66へ



Q 4. 若い講師の**指導力・教務力**が心配…。

◎マニュアルとして使用できる**指導書**が充実。(指導書ありの教材は**指**マークで表示しました。)

さらに映像教材も充実しています。(P36、59へ)



くわしい解説!
個別指導専用教材

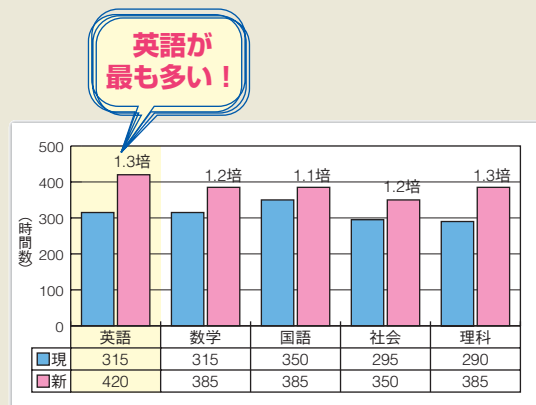


中学校の授業時間数はどう変わる？

●5教科の授業時間数は**1.23倍**へ！最も多くなるのは**英語**！

新教科書のページ増に対し、中学校での主要5教科の授業時間数は現行の1,565時間から1,925時間へ、360時間アップします。5教科平均では23%アップですが、これは「総合的な学習の時間」や「選択教科等」の時間を削減し、主要5教科へ割り当てたものとなります。

さらに、教科別に見ると5教科の中で一番授業時間数が多くなるのは英語。3年間で420時間と、中1～3を通して毎週4時間のペースで授業が行われることになります。



中学校授業時間数 主要5教科の増減

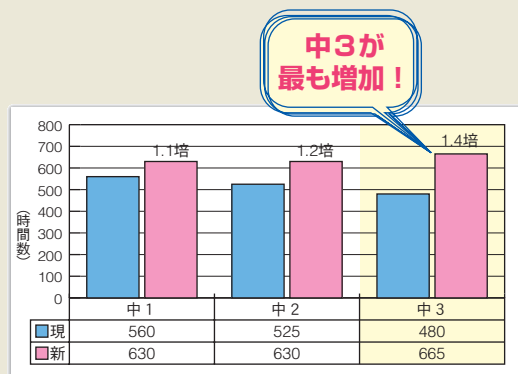
授業時間数の増加率が最も高いのは中3！

●**中3**で特に増える！**入試対策**は大丈夫？！

注目すべきは、中3での主要5教科の授業数増加率が最も高いこと。つまり、それほどの授業時間を確保しなければならないほど、**中3での学習内容が増える**ということです。

そこで気になるのが入試対策ですが、中3では中1・2の復習もしなければならぬ、中3内容の定着も、過去問演習も…となるとかなりタイトな入試対策スケジュールになってしまうことは必至。今まで通りの日程では間に合わない！という危険性もあります。中1・2の早い段階から入試を見据えた学習が必要となることは言うまでもありません。

- ▶入試対策にはこちら！【中学生 高校入試対策問題集】P44へ
- ▶中1・2の復習もお早めに！【中学生 中学まとめ教材】P46へ
- ▶その他、高校入試サポート教材を多数取り揃えております！（P48へ）



中学校授業時間数 主要5教科の学年別の増減



…他、多数！

地域の教科書採択も変更になります！

中学教科書改訂に伴い、各地域の教科書採択も変更となります。各教科別の発行は以下の通りです。準拠版教材をご注文の際は、必ず採択の確認をお願いします。

【2012年度教科別教科書発行会社】

英語…東書・開隆・三省・教出・光村・学図

数学…啓林・東書・日文・学図・大日・教出・**NEW** 数研

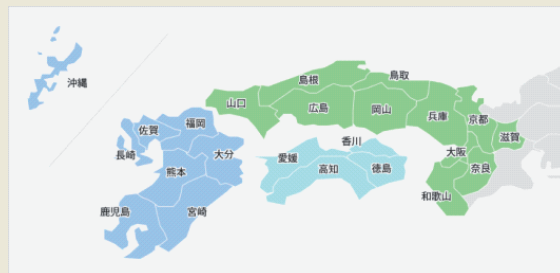
国語…光村・東書・三省・教出・学図

理科…啓林・東書・大日・教出・学図

地理…東書・帝国・日文(旧阪書)・教出

歴史…東書・帝国・日文・教出・清水・自由社・育鵬社(旧扶桑社)

公民…東書・帝国・日文・教出・清水・自由社・育鵬社(旧扶桑社)



HPから教科書採択表がダウンロードできます！▶ <http://www.chuoh-kyouiku.co.jp/>

▶教科書準拠版はこちら！【中学生 通年教材【準拠版】】P33へ、【中学生 補助教材 教科書準拠版】P57へ

英語はこう変わる！



…他、多数!

●文法力の強化

文法的説明や練習問題が増加、課末に適語補充・並べ替えなどの文法問題を追加している教科書もあります。また「理解」のみならず、さまざまな表現の「運用」と「活用」が求められます。入試主流の「英作文」と関連付けた練習は欠かせないところです。

👉文法力の強化にはこちら!【中学生 高校生入試サポート教材 英文法・英作文】P51へ

●指導語数が900語から**1200語**へ大幅増加!

取り扱い単語が1200語へアップ! 実用的な英単語や口語的頻出フレーズが新登場しています。

※新教科書登場の単語・熟語(一例)

suggest(三省中3)・confuse(東書中3)・increase(開隆中3)・apply(東書中2)・Promise to keep in touch.(三省中3)・Why don't you give it a try?(東書中2)・a bit too expensive(開隆中3)など

👉単語力の強化にはこちら!【中学生 高校入試サポート教材 英単語・熟語】P51へ

●長文読解力の強化

高校入試の長文を意識したリーディング教材の強化も特徴です。ページ数増もさることながら、指示語・代名詞の内容把握、さらに英問英答を中心とした内容理解問題が付されており、入試さながらの形式です!

👉長文読解対策にはこちら!【中学生 高校入試サポート教材 英語長文】P49へ

☆小学英語から中学英語への移行が問題!

2011年度より小5・6で外国語活動が必修化され、小学英語が導入されましたが、実態は小学英語から中学英語への移行の際の落差

が大きく、**上手く連動ができていない**という問題が浮き彫りになっています。今後は「聞く」「話す」のみならず、小6段階から中学英語への橋渡しができるような**「読む」「書く」といった前倒しの指導が必要**です。

👉小学生の英語学習にはこちら!【小学生 英語導入教材】P31へ



…他、多数!

数学はこう変わる!



…他、多数!

●問題数の増加、内容の難化

ページあたりの問題量が大きく増加し、さらに知識の活用を問うような発展的な内容の問題も掲載されます。また、2次方程式の解の公式の復活など、旧教科書では発展的学習内容であったものが、一部通常の学習範囲として扱われることとなります。これはすなわち入試でも出題される可能性がある!ということです。内容の難化により、教科書そのものが入試レベルになるかもしれません…。

●計算力の強化! 数値の複雑化

小学校の新教科書に伴い、中学数学でも基礎・基本的な計算力が求められます。問題数の大幅アップに加え、計算結果が複雑な数値になるものも出現。計算の複雑化を招き、さらなる難易度アップが予想されます。

👉計算力の強化にはこちら!【中学生 計算教材】P56へ

☆事実、移行措置内容が定着できていない?!

数学・理科を中心に2009年度より前倒しで実施された「移行措置」内容。学校では別冊の補助教材を用いて学習し、実際の高校入試でも移行措置の内容から出題がされましたが、全国的に非常に正答率が低く、**移行措置内容が定着していない**ことがうかがえます。今後ますます「学び残し」が懸念されます…。

国語はこう変わる！



…他、多数!

●改定常用漢字196字が追加

2010年に常用漢字が改定され、中学3年間で扱う漢字が1945字から2136字へと、新たに196字が追加されることになりました。

◎漢字力の強化にはこちら!【中学生 漢字教材】P55へ

※新教科書登場の改定常用漢字(一例)
小唄・鬱憤・怨念・才媛・艶など(光村中3)

●客観的・分析的な読み方の重視。伝統的な言語文化の学習

新教科書では表現や論の展開を「批評的に」読むことが重視されます。また、伝統的な言語文化として古典や近代文学(夏目漱石・森鷗外など)の作品を扱います。いずれも読書活動につなげることがねらいとされています。

◎国語の読解演習にはこちら!【中学生 高校入試サポート教材 国語長文】P52へ

◎古文・漢文の強化にはこちら!【中学生 高校入試サポート教材 古文・漢文】P53へ

理科はこう変わる！



…他、多数!

●削減内容の完全復活! ページ数も大幅増!

かつての中学理科では常識だった「イオン」等の削減内容が完全復活。ページ数の増加率は主要5教科の中でもダントツで、学年全体の平均で45%もアップしています。情報量が大幅アップした教科書の中から、必要な情報を整理整頓し、具体的な事例を通して「活用する力」が求められます。

◎高校入試対策にはこちら!【中学生 高校入試サポート教材 理科】P53へ

◎豊富な情報量の資料集はこちら!【中学生 補助教材 理科】P58へ

●学年分冊化へ変更。学習順序が教科書ごとに異なる?!

第1分野・第2分野の各上下巻という分冊形態から、学年別の分冊形態へ変わります。各学年で学習すればよい内容は明確になりましたが、問題は教科書ごとに分野の学習順序が異なるという点。地域が違えば、同時期に学習している内容も違う、ということが起こり得ます!

社会はこう変わる!



…他、多数!

●地理は「調べ学習」から「世界地理」&「日本地理」へ

地理は「調べ学習」を中心とした散発的な内容から、世界や日本の諸地域を地誌的にとらえるという従来のコンセプトへ戻ります。しかし、単なる知識の記憶ではなく、「様々な観点から比較・検討して違いを理解する」ことが重視されますので、グラフや統計資料を読み取る力も変わらず要求されます。

●歴史では四大文明・市民革命など「世界史」が復活!

歴史では「世界史」の内容が復活、四大文明や市民革命・産業革命などの扱いが大きくなり、歴史全体を通して覚えるべき用語が大幅に増大しました。こちらも知識の詰め込みではなく、地図と年表で時代の流れを確認するなど、多様な視点から総合的に捉える力が求められます。さらに並列型学習でも、歴史は中3の1学期までかけて指導することが決定されました。

◎高校入試対策にはこちら!【中学生 高校入試サポート教材 社会】P54へ

◎地図・年表の整理にはこちら!【中学生 補助教材 社会】P58へ

◎用語の整理には一問一答問題集もオススメ!【中学生 高校入試サポート教材 一問一答問題集】P54へ